

岐阜市立徹明さくら小学校で防災講座を行いました

令和4年6月4日（土）、徹明さくら小学校の3～6年生約200名に、「災害から大切な人の命を守るために」と題し、浸水疑似体験映像による避難行動シミュレーションで、避難が遅れたときに遭遇する被災を疑似体験しました。ハザードマップ確認の重要性や歩行が困難になる水深・ドアが開かなくなる水深など、実際の避難に役立つ内容を学びました。講座はコロナ感染症に配慮し、放送室から各教室にライブ配信し、先生が放送室でVR体験する様子も配信されました。教室を覗いてみましたが、皆さん、興味深く真剣に話を聞いていました。

今回の講座が、児童の防災意識向上に繋がることを期待しています。

